

長島町消防団入退団式

消防人としての責任と自覚をもって

4月14日、長島町消防団（諏訪義則団長）は長島町鷹巣運動場で平成25年度長島町消防団入退団式を行いました。

今年の入退団式では86人が入退団し、総勢295人の消防団員が集まりました。

式典で、川添健町長が諏訪義則消防団長へ町消防団長の辞令を交付し、長期に渡り勤務され今回で退団となる団員に対し感謝状を贈呈し、感謝の意を表しました。

入団者代表の永岡躍志さんが力強く宣誓すると、川添健町長は団員へ向けて「地域住民の生命と財産を守り、防災に努め、災害時には傷病者の救助や搬送に尽力し、地域の福祉向上に努めることを期待します。多様化する災害に備え、町としても消防団の活動が充実するように推進します。長島町の防災体制に協力ください」とあいさつしました。

阿久根警察署の山下耕治署長は「高齢者の一人住まいが増加

しており、今日の災害は一昔前より複雑化、困難化しています。行方不明者の捜索や、災害時の避難誘導、救助に最前線で活躍する皆さんは、責任感を持って安心安全な地域社会を築けるよう努力してください」と祝辞を述べました。

退団者を代表して、長島町消防団本部長を歴任された松尾安さんは「若いころは遠洋漁業で航海士をしていた。船で地球を一回りしたが、知人は少なかった。消防団に入団し、31年間の団員生活の中で、友人や知り合いがたくさん増え、一番の心の財産となった」とこれまでの団員生活を振り返り、在団する団員へ感謝の言葉を贈りました。

最後に、諏訪義則消防団長が「歴史と伝統を受け継ぎ、信頼される消防団員になってください。各団員が消防人としての自覚を持って一致団結し、厳しい訓練を乗り越えて地域住民の生命と財産を守るよう精進してください」と訓示を述べました。



↑感謝の言葉を述べる松尾安さん



↑新入団員へ辞令が交付される

東消防分遣所庁舎 建設候補地が決定



川添健町長に報告書が提出される←

4月3日、東消防分遣所庁舎建設地検討委員会（濱田重則委員長）から川添健町長に報告書が提出されました。

長年に渡って長島町民の生命と財産を守ってきた東分遣所は、庁舎の老朽化が進み、十分な敷地も確保できていないことから、同委員会において建設候補地の協議を進めてきました。今回、検討委員会の意見がまとまり報告書が提出されました。

候補地は2地区で、第一候補地は鷹巣地区となりました。救急件数が他の地区と比べて突出して多いこと、二次医療機関への搬送の利便性を考えてのことです。救急搬送に長時間を要

県消防協会会長に 諏訪義則長島町消防団長が就任

これまで、鹿児島県消防協会理事を務めてきた諏訪義則長島町消防団長が、4月1日付けで鹿児島県消防協会会長に就任しました。これから県内の消防職員と団員、1万7千600人の代表として職務を担うことになります。



↑県消防協会会長に就任した諏訪義則氏

今後とも防火、防災の意識を高く持ち、誠心誠意任期を全うしたい」と抱負を話しました。

する諸浦、獅子島地区も考慮して適切と判断されました。

第二候補地は、各地区への交通面から平尾地区が適切となりました。長島高校跡地の広い敷地であれば、さまざまな訓練やドクターヘリの離発着も可能と思われるためです。

分遣所の統廃合については、交通の整備状況、救急救命士の配備状況などを勘案し、既存の分遣所が廃止されることによる住民の不安解消に考慮し、最終的な建設地の決定、分遣所の統廃合については、同委員会の報告書を参考に、町において具体化していくよう報告がありました。